

日本史 B	報告課題第 5 回 解説	年	組	氏名	
-------	--------------	---	---	----	--

◎教科書『詳説日本史 B』 p120~152をしっかりと読みましょう。

また、以下に書かれている学習内容の解説を読み、理解を深めましょう。

〈ポイント〉 報告課題は教科書からの抜きだし問題が多くあります。

報告課題の文章と教科書の文章を照らし合わせながら問題を解き進めましょう。

### 1. 「室町幕府の成立」

足利義満は、京都の室町に壮麗な邸宅をつくりそこで政治をおこなったので、この幕府を室町幕府と呼んでいます。義満は、朝廷が保持していた権限（京都の市政権や諸国に課する段銭の徴収権など）を幕府の管轄下におき、全国的な統一政権としての幕府の確立などをおこないました。

### 2. 「室町幕府の衰退と庶民の台頭」

明（現在の中国）では、近隣の諸国に通交を求めています。そこで日本は 1401 年、足利義満により明との国交を開きます。（日明貿易） 日明貿易の形式は、国王が明の皇帝へ朝貢をおこない、その返礼品を受け取るというものでした。

### 3. 「室町文化」

室町時代にはたくさんの文化が形成されます。まず南北朝の動乱期を背景とした南北朝文化が生まれ、ついで足利義満の時代に北山文化が、足利義政の時代に東山文化が生まれました。

### 4. 「戦国大名」

当時、将軍権力の弱体化に伴って内紛が相次いで発生していました。そして 1467 年、戦国時代の幕開けとなる応仁の乱が始まります。応仁の乱の終戦後も、争いは地域的争いとして続けられ、全国的に広がっていきました。

その中で、実力のある支配者が台頭し、みずからの力で領国（分国）をつくり上げ、独自の支配をおこなう地方権力が誕生します。（戦国大名）